



## 平成29年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年6月9日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東  
 コード番号 3653 URL http://www.morphoinc.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 大野 良 TEL 03 (3288) 3288  
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年10月期第2四半期の連結業績（平成28年11月1日～平成29年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第2四半期	1,200	15.4	483	13.4	507	39.3	379	46.9
28年10月期第2四半期	1,040	△0.2	426	△0.5	364	△23.6	258	△26.1

(注) 包括利益 29年10月期第2四半期 385百万円 (56.0%) 28年10月期第2四半期 247百万円 (△30.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第2四半期	72.50	71.72
28年10月期第2四半期	50.63	50.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年10月期第2四半期	4,562	4,231	92.8	803.00
28年10月期	4,063	3,756	92.4	719.17

(参考) 自己資本 29年10月期第2四半期 4,231百万円 28年10月期 3,754百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年10月期	—	0.00			
29年10月期（予想）			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年10月期の連結業績予想（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	16.6	950	15.2	950	26.2	650	28.0	123.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年10月期2Q	5,271,200株	28年10月期	5,271,200株
② 期末自己株式数	29年10月期2Q	1,700株	28年10月期	50,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年10月期2Q	5,239,903株	28年10月期2Q	5,108,110株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかな回復が続きました。一方、世界経済は、中東・北朝鮮情勢や米国政権の政策運営等先行きに懸念がありながらも、全体として回復基調にありました。

当社グループの主要な事業領域であるスマートフォン市場は、成長の鈍化や一部生産調整等がみられるものの、おおむね堅調に推移し、スマートフォンメーカー各社の新たな開発トレンドとしてはデュアルカメラ搭載への技術に関心が高まりました。また、新たな事業領域と位置付けている人工知能(AI)を活用した関連産業の市場は、金融、製造、情報通信から社会インフラへと活発に広がりをみせました。

このような状況の中、当社グループのカメラデバイス事業においては、スマートフォン市場での更なるシェアアップを目指し、新興スマートフォンメーカー等への営業活動を積極的に進めました。一方、ネットワークサービス事業においては、新サービスの提供や顧客・市場開拓のため、他社との業務提携等にも精力的に取り組み、売上成長に努めました。また、当社グループは、魅力的かつ技術優位性の高い製品開発や将来を見据えた基礎技術研究、新規事業立ち上げのための市場調査活動にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,200,732千円(前年同四半期比15.4%増)、営業利益483,639千円(前年同四半期比13.4%増)、経常利益507,964千円(前年同四半期比39.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益379,891千円(前年同四半期比46.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループは、「カメラデバイス事業」「ネットワークサービス事業」の2つを報告セグメントとして、セグメント情報を記載しております。

#### ①カメラデバイス事業

「カメラデバイス事業」は、スマートフォンを中心として車載、監視カメラ、業務・産業機器等への組込み向け製品のライセンス、開発及びサポート等を行っております。

当事業においては、スマートフォンメーカーからのロイヤリティ収入がほぼ横ばいに推移したものの、車載向け開発収入等が増加したため、売上高は、前年同四半期比10.5%増の1,017,480千円となりました。営業利益は、主に売上高の増加により、前年同四半期比13.7%増の737,102千円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(千円)	920,468	1,017,480	10.5%
セグメント利益(千円)	648,447	737,102	13.7%

#### ②ネットワークサービス事業

「ネットワークサービス事業」は、ディープラーニングを中心とした画像認識技術や画像処理技術を用いたシステムのクラウドサービス事業者や映像配信業者等へのライセンス、開発及びサポート等を行っております。

当事業においては、顧客開拓が一段と進み、クラウドサービス事業者や放送事業者から、電子機器メーカー、医療関連事業者等へと顧客の幅に広がりをみせております。当期は、前期の開発案件がロイヤリティ収入へと切り替わった他、開発案件も増加し、売上高は、前年同四半期比52.5%増の183,252千円と大幅に増加いたしました。営業利益は、従業員の増加による人件費等増加があったものの、売上高が増加し、前年同四半期比91.3%増の63,740千円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)	前年同四半期比 増減率
売上高(千円)	120,187	183,252	52.5%
セグメント利益(千円)	33,318	63,740	91.3%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は4,220,244千円となり前連結会計年度末に比べ495,317千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が393,807千円、売掛金が66,953千円、前払費用が12,399千円増加したことによるものであります。固定資産は342,044千円となり、前連結会計年度末に比べ3,317千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が11,418千円、無形固定資産が12,564千円増加し、繰延税金資産が23,521千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は4,562,289千円となり、前連結会計年度末に比べ498,634千円増加いたしました。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は280,671千円となり前連結会計年度末に比べ26,991千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が49,827千円、前受金が19,112千円増加し、未払金が28,687千円減少したことによるものであります。固定負債は49,717千円となり、前連結会計年度末に比べ3,427千円減少いたしました。これは主に長期借入金が8,778千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は330,389千円となり、前連結会計年度末に比べ23,563千円増加いたしました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,231,899千円となり前連結会計年度末に比べ475,070千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などより利益剰余金が166,544千円増加したこと、自己株式が304,327千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年12月9日の「平成28年10月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,100,095	3,493,903
売掛金	532,162	599,115
仕掛品	1,318	3,709
前払費用	21,504	33,903
繰延税金資産	50,410	58,678
その他	19,437	30,933
流動資産合計	3,724,927	4,220,244
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	47,169	43,917
工具、器具及び備品(純額)	59,178	73,849
有形固定資産合計	106,348	117,767
無形固定資産		
ソフトウェア	22,413	32,690
その他	772	3,059
無形固定資産合計	23,186	35,750
投資その他の資産		
投資有価証券	22,469	22,469
敷金及び保証金	76,807	77,455
繰延税金資産	108,934	85,413
その他	980	3,187
投資その他の資産合計	209,192	188,526
固定資産合計	338,727	342,044
資産合計	4,063,654	4,562,289

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,564	11,313
1年内返済予定の長期借入金	24,648	22,442
未払金	70,640	41,952
未払法人税等	28,169	77,996
未払費用	15,764	18,483
前受金	79,630	98,742
その他	21,264	9,741
流動負債合計	253,680	280,671
固定負債		
長期借入金	25,798	17,020
資産除去債務	27,347	27,522
その他	-	5,175
固定負債合計	53,145	49,717
負債合計	306,825	330,389
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,518,089	1,518,089
新株式申込証拠金	-	490
資本剰余金	1,466,759	1,466,759
利益剰余金	1,070,732	1,237,277
自己株式	△315,039	△10,711
株主資本合計	3,740,543	4,211,906
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	14,369	19,993
その他の包括利益累計額合計	14,369	19,993
新株予約権	1,915	-
純資産合計	3,756,829	4,231,899
負債純資産合計	4,063,654	4,562,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
売上高	1,040,656	1,200,732
売上原価	160,974	178,105
売上総利益	879,682	1,022,627
販売費及び一般管理費	453,302	538,988
営業利益	426,380	483,639
営業外収益		
受取利息	231	238
為替差益	-	24,154
その他	298	178
営業外収益合計	529	24,570
営業外費用		
支払利息	386	244
為替差損	61,253	-
その他	668	0
営業外費用合計	62,309	244
経常利益	364,600	507,964
税金等調整前四半期純利益	364,600	507,964
法人税、住民税及び事業税	68,719	112,820
法人税等調整額	37,250	15,252
法人税等合計	105,969	128,073
四半期純利益	258,630	379,891
親会社株主に帰属する四半期純利益	258,630	379,891



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)
四半期純利益	258,630	379,891
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△11,479	5,623
その他の包括利益合計	△11,479	5,623
四半期包括利益	247,151	385,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247,151	385,515
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	364,600	507,964
減価償却費	22,753	25,778
受取利息	△231	△238
支払利息	386	244
為替差損益(△は益)	14,352	△13,704
売上債権の増減額(△は増加)	25,683	△66,953
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,840	△5,286
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,112	△2,044
未払金の増減額(△は減少)	△85,156	△27,985
前受金の増減額(△は減少)	△45,047	15,826
その他	△38,029	△9,692
小計	260,039	423,909
利息の受取額	231	171
利息の支払額	△382	△205
法人税等の支払額	△223,005	△66,896
法人税等の還付額	-	10,818
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,882	367,797
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△31,929	△28,189
無形固定資産の取得による支出	△13,159	△21,955
短期貸付金の純増減額(△は増加)	-	△25,744
敷金及び保証金の差入による支出	△16,762	△5,470
敷金及び保証金の回収による収入	-	5,403
預り敷金及び保証金の受入による収入	-	5,175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,850	△70,782
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△14,676	△10,984
株式の発行による収入	1,249,204	-
新株式申込証拠金の払込による収入	980	490
自己株式の取得による支出	△315,039	-
自己株式の処分による収入	-	89,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	920,469	78,571
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,233	18,220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	872,267	393,807
現金及び現金同等物の期首残高	2,036,168	3,100,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,908,435	3,493,903

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、ストック・オプションの行使による自己株式48,300株の処分に伴い、自己株式が304,327千円減少しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間末における、自己株式は10,711千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日至平成28年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	カメラデバイス 事業	ネットワーク サービス事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	920,468	120,187	1,040,656	-	1,040,656
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	920,468	120,187	1,040,656	-	1,040,656
セグメント利益	648,447	33,318	681,765	△255,385	426,380

(注) 1. セグメント利益の調整額△255,385千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△255,385千円  
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	カメラデバイス 事業	ネットワーク サービス事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,017,480	183,252	1,200,732	-	1,200,732
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	1,017,480	183,252	1,200,732	-	1,200,732
セグメント利益	737,102	63,740	800,843	△317,204	483,639

(注) 1. セグメント利益の調整額△317,204千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△317,204千円  
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。